

区分	スペック・ 試行	担当課	道路維持課
----	-----------------	-----	-------

事業区分	道路	取組項目	道路植栽地の雑草対策
現状・問題点・背景			
<p>道路の沿線では、作ったまま放置され、雑草が繁茂している植栽地を見かける。近年の道路予算の削減に伴い、今後も十分な維持管理が困難な状況が続くと考えられる。</p> <p>雑草の繁茂対策としては、試験施行のレベルで、木材チップや砕石などを敷き詰めたり、間伐材を設置したりしているが、効果は確認されていない。</p>			
取組項目の内容			
<p>植栽地の裸地において、防草シートを敷いた上に砕石、砂利、玉石、木材チップ、間伐材等を置き、雑草の繁茂を抑制する。(基本的には、最も安価な砕石又は砂利を使用する。)</p> <p>玉石、木材チップ、間伐材丸太、木炭などは、特殊なケースとして必要に応じ、モデル的に試行する。</p> <p>植栽地を新設する場合は、原則として、これらの雑草対策を施工し、維持管理手間の軽減を図る。</p> <p>既設植栽地については、改修に経費を要することから、特に問題となっている箇所について、試験的に取り組む。</p> <p>(ただし、地域住民などによって、花壇等として管理される場合は、この限りでない。)</p>			
取組項目の効果			
<p>道路沿線の環境と景観の向上を図るとともに、雑草の繁茂による通行可能幅員の障害の防止や視距の確保により、交通事故の防止を図る。</p> <p>さらに、草刈などの維持管理業務を低減させることにより、コスト縮減が図れる。</p>			
イメージ(コンセプト)			
		対策を行わなかった場合	
		砂利を設置した事例	
		間伐材を設置した事例	